



analytica

OCTOBER 19-22 | 2020



Messe München

ファイナルレポート

国際ラボテクノロジー・分析技術・バイオテクノロジー専門見本市・会議
2020年10月19日～22日

2020年10月26日

analytica 2020、初めてのデジタルフォーマットで成功裏に終了

Summary

- analytica 2020 はラボ業界における最大のバーチャルプラットフォーム
- 1日5,000人を超えるデジタル来場者！ その半数はドイツ国外から参加
- 今後のラボにおける重要なテーマはデジタル化

analytica 2020 は、10月19日から22日まで開催され、バーチャル見本市・会議として成功裏に終了した。この5日間、世界をリードする、ラボ技術、分析機器、バイオテクノロジーのバーチャルイベントには、152カ国から21,641人がデジタルで来場した。デジタルプラットフォーム上では、24カ国から268社が700点以上の製品について、そのハイライトを紹介した。また、analytica Conference では、200社以上の出展企業によるウェビナーと119件の講演が行われ、33,000人を超える参加者があった。今回の主題はデジタルフォーメーションであった。

主催社メッセ・ミュンヘンの役員会副会長ラインハルト・ファイファーは、「あらゆる業界において多くの人が、バーチャルプラットフォームでは、特に新規顧客の開拓には限界があると考えている。それにもかかわらず、analytica への参加者の多くは、現在のような状況において analytica をデジタル開催したことは適切であり、非常に有意義であったと話している。その結果、analytica は世界をリードする見本市としての地位をより高めることとなった。2022年6月には今回培ったノウハウを活用し、対面式の見本市に加えて、デジタルによるサービスも拡大していきたい」と話した。

今回のデジタルイベントは、メッセ・ミュンヘンと LUMITOS AG 社の協力によって実現したものである。

高い国際性

24時間常時デジタルプラットフォームへのアクセスを可能にしたことによって、世界各国からの参加が促進され、analytica 2020 はこれまでで最も国際性の高い開催となった。デジタル来場者のうち半数がドイツ国外からの参加であり、ドイツに次いで参加者の多かった国は、スイス、米国、英国、オーストリア、インドである。来場状況からいえば、中央ヨーロッパ時間の午前中にアジアからの参加が増え、夕方から夜にかかる時間帯には米国からの参加が増えていた。5日間の会期中、1日平均約5千人が参加し、ピーク時には7千人を超えた。

来場者の利便性を考慮し、268の出展社は、分析・測定技術、ラボ技術、バイオテック・バイオ分析、診断・医薬、スタートアップ、新製品の6つのバーチャルホールにグループ分けされた。1つのバーチャルブースでは紹介できる製品を最大4つに限定することにより、革新的技術や注目技術に絞って効率的に紹介する場となった。また、ライブチャットやテキストチャット機能を活用して、出展社と来場者の直接的な会話も可能とした。

最多議題はデジタル化！ 出展社による講演に多くの人に参加

広範囲な講演プログラムにあって、デジタル化、ラボの自動化、そしてデータ管理に関する議題には、特に来場者の関心が高かった。200社を超える出展企業による講演には、24,000人以上が登録参加した。

また、analytica Conference はデジタル開催においても、その卓越した質を保つことができた。参加者数は2,126人で、これは analytica 2018 の時と同等の多さだった。

119件のプログラムには5日間で9,300人もの登録があった。会期中、これらの講演は複数回繰り返し配信された。

出展社から前向きなフィードバック

出展社から、analytica 2020 に対して建設的な感想が多く寄せられた。Merk Life Science 社の Véronique Batifort 氏は、「新製品だけを集めた Premire ホールでは、特に当社の革新的な技術をアピールすることができた。今回のバーチャルなプラットフォームにおいても、ウェビナーによって知識や技術を世界中からの多くの来場者に向けて発信することができたことに大変満足している。次回、2022年の開催ではライブラボで実演することができることを待ち望んでいる」と話した。

また Thermo Fisher Scientific 社の Ruben Lonneville 氏は、「analytica Virtual は顧客との関係維持に大変有益だった。バーチャルな方法で新しい革新的な製品を紹介することができ、顧客からの質問にもリアルタイムで回答することができた。当社にとって不可欠な科学者とのつながりや協力を更に強めていくにあたって、analytica は今後とも重要な見本市である。2022年には従来の対面式の見本市に戻ることを強く願っているが、analytica は、今後対面とバーチャルとの両方を組み合わせて進化していくものと考えられる」と述べた。

analytica エキシビジョン・ダイレクターのスザンネ・グレーデルは、「訪問や渡航の規制を強いられている現状において、24時間グローバルに展示や講演の機会を提供し、成功裏に終えることができたことを大変嬉しく思っている。特にこのような厳しい状況にあって、いっそう重要性を増すラボ部門への注目度を高めるという目的を達成できた。analytica 2022 でまたお目にかかることを今から楽しみにしている」と語った。

次回の analytica は、2022年6月21日から24日まで、メッセ・ミュンヘン見本市会場にて従来どおりの対面式で開催される。

また、analytica China が、今年2020年11月11日から16日まで中国・上海で開催される予定であり、過去最多の出展社が集まると想定されている。

資料請求、各種お問い合わせ先：メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語/ドイツ語)